

研究学園都市、つくば市のベンチャー企業 スリランカの次世代農業を支援

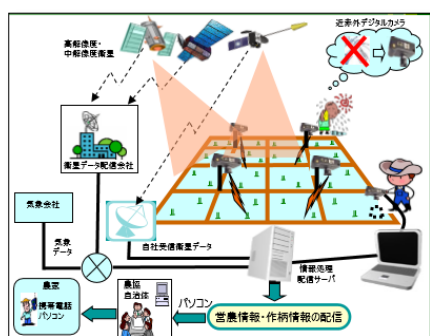
～人工衛星を使った農業ITシステムで生産性向上～

国際協力機構（JICA）は6月30日、「中小企業海外展開支援事業～案件化調査～」において、株式会社ビジョンテック（茨城県つくば市、原 政直 代表取締役）が提案するスリランカにおける「農業生産性および食の安全性の向上を実現する水稲圃場情報提供システム構築のための案件化調査」を採択しました。

スリランカの農業は1970年代に本格化した緑の革命による技術革新を経て、生産量の増加と農業土地の利用拡大が促進され、大きな成長を遂げたものの、化学肥料・農薬による土壌劣化、健康被害が問題になる中、次段階への発展が頭打ち状態になっており、先進農業技術の導入による生産性、生産量の向上が課題となっています。

人工衛星から得たタイムリーな情報や集計された記録を提供する水稲圃場農業情報提供システムである同社の「アグリルック」の導入は、政府の農民への農業技術普及の支援、農業生産性および食の安全性の向上、さらに農村部の貧困解決にも繋がります。

本調査では、スリランカへの導入を図るため、その可能性や課題などを調査し、今後の事業展開に向けた検討を行います。



アグリルック概念図



提供情報例

この調査は、我が国の中小企業を対象とした「中小企業海外展開支援事業～案件化調査～」として実施されます。案件化調査は、途上国の開発ニーズと日本の中小企業の優れた製品・技術等とのマッチングを行い、製品・技術を ODA 事業に活用するための 情報収集・事業計画立案等を支援することを目的としたもので、2012 年度から実施されており、2016 年度第 1 回分は本年 2 月に公示を行いました。117 件の応募のうち 35 件が採択され、今後の契約交渉を経て契約に至ったものから、順次調査を実施します。

参考：(プレスリリース) 案件化調査 2016 年度第 1 回公示の採択結果について

URL：<http://www.jica.go.jp/announce/notice/investigation/index.html>

【本件に関する問い合わせ先】

JICA 筑波国際センター 研修業務・市民参加協力課 担当：小峯、實方

TEL:029-838-1117 e-mail：jicatbic@jica.go.jp

JICA 国内事業部中小企業支援調査課 高林（案件担当）、橋本（広報担当）

[TEL:03-5226-3243](tel:03-5226-3243) e-mail：pdtfs@jica.go.jp